

＜令和6年度第3回委員会（2025年3月6日開催）の比較検討＞

	原案一部修正案 ：正面階段案	A 案：階段を隠す案	B 案：階段分散案	C 案：円形花壇廻りを 斜面とする案
正門 外観				
外構 東側 外観				
メリット	● 表正門前とエントランス 前の広場空間が一番 広く設けられる	● 東側エリアへの通路と 階段下の空間が広く確 保できるため、来館者 動線にゆとりがある。	● 階段と擁壁を組み合わ せることで正門前の圧 迫感を低減。	● 龍潭通りから敷地内部 をみた際に円形花壇廻 りの外観印象が往時に 近く、再現性に優位。
デメリット	● 龍潭通りからみた際に 階段により圧迫感を感 じる。	● 龍潭通りから敷地内部 をみた際に正面に擁壁 があるため、往時との印 象が大きく異なる。	● 階段を分散したため、正 門前とエントランス前の 広場空間が制限される。	● 東側エリアへの動線幅 が狭小で通行上支障が ある。 ● 斜面により広場として利 用可能なスペースが制 限される。